

2011年8月11日

東日本大震災 FF ジョイント施工現場確認について

株式会社サンリツ

1. はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生しましたが、東北地方において FF ジョイントを採用頂いた施工場所が多数存在します。そのうちの一つである岩手県盛岡市内施設での現状から、本技術の施工現場を確認しました。また、同現場で従来工法(モルタル、ボンドによるベルマウス取り付け)の状態も確認できたので双方の比較も行いました。

2. 確認内容

FF ジョイントでは部材の破損や接続部からの浸水は確認されなかった。

FF ジョイントの現場写真は写真 1～6 参照

従来工法ではベルマウスの破損や浸水が確認された。

従来工法の現場写真は写真 7～12 参照

なお、今回の施工現場は 3 月 11 日に震度 5 強、4 月 7 日に震度 5 弱が発生している。



写真1 FF ジョイント1現場



写真2 FF ジョイント1内部1



写真3 FF ジョイント1内部3



写真4 FF ジョイント1内部4



写真5 FF ジョイント2現場

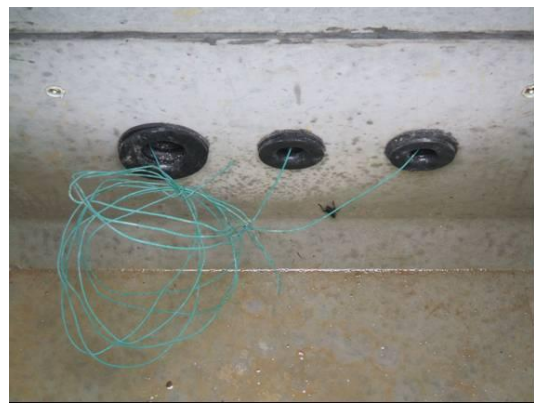


写真6 FF ジョイント2内部



写真7 従来工法1現場



写真8 従来工法1内部1



写真 9 従来工法 1 内部 2



写真 10 従来工法 1 内部 3



写真 11 従来工法 2 現場



写真 12 従来工法 2 内部

3. 確認結果

今回確認した岩手県盛岡市内施設においては、FF ジョイントの施工箇所での部材の破損、接続部からの浸水はなかったため耐震性の効果があったと判断出来ます。一方、従来工法での施工箇所では、ベルマウスの破損、浸水(削孔部から浸水している)が発生しています。FF ジョイントの耐震性は従来工法より優れていると考えます。今後、別の場所についても追跡調査を行います。

以上